

科 目		音楽史（前期）				
担当教員	越野陽子	学年	3	履修期間	前期	
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	講義	単位時間	34単位時間			
1. 概要						
目的	音楽の歴史を知ることにより、人間がどのように音楽(芸術)と関わって来たかを学びます。人間の心の成熟のために音楽がもたらした功績を理解し、“なぜ音楽療法が有効なのか?”という、原点を探ります。					
2. 講義計画						
第1週	ガイダンス 第1章 古代～中世～ルネサンス（グレゴリオ聖歌～楽譜の始まり）					
第2週	第2章 中世～ルネサンス（中世の修道院～近代のあけぼの）					
第3週	第3章 バロック1 オペラの誕生（カメラータ～ヴィヴァルディ）					
第4週	バロック2 ヴィヴァルディ、ヘンデル					
第5週	バロック3 バッハ					
第6週	第4章 古典派1 ハイドン、モーツァルト					
第7週	古典派2 ベートーヴェン					
第8週	第5章 ロマン派1 シューベルト、シューマン					
第9週	ロマン派2 ショパン、リスト					
第10週	ロマン派3 イタリア・オペラヴェルディ、プッチーニ					
第11週	ロマン派4 ドイツ・オペラウェーバー、ヴァグナー					
第12週	ロマン派5 新古典主義（後期ロマン派）～国民主義：東欧 ブラームス、スメタナ、ドヴォルジャーク					
第13週	ロマン派6 国民主義：ロシア ムソルグスキー、チャイコフスキー、ラフマニノフ					
第14週	ロマン派7 国民主義：北欧 シベリウス、グリーグ					
第15週	第6章 現代音楽（近代）印象主義 ドビュッシー、ラヴェル					
第16週	現代音楽（世紀末）マーラー、R. シュトラウス、ストラヴィンスキー					
第17週	前期定期試験1 シューベルト、メシアン					
第18週	前期定期試験2 武満徹、ブーレーズ					
3. 関連科目及び注意点						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（筆記試験）により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	：プリントにて対応					
参考書	：					
6. 注意事項						

科 目		療法実践Ⅱ（通期）							
担当教員	小川いづみ・菅原洋子	学年	3	履修期間	通期				
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業							
種別	演習	単位時間	68単位時間						
1. 概要									
目的	音楽療法実習で音楽セッションをする高齢者施設での計画を立案する。								
2. 講義計画									
第1週	福祉生協イリス イリス北8条、	第19週	福祉生協イリス イリス北8条、						
第2週	福祉生協イリス イリスもとまち、	第20週	福祉生協イリス イリスもとまち、						
第3週	有料老人ホーム ソレイユ、	第21週	有料老人ホーム ソレイユ、						
第4週	はまなす介護センター	第22週	はまなす介護センター						
第5週	各施設にて交代に実習を行う。	第23週	各施設にて交代に実習を行う。						
第6週									
第7週		第24週							
第8週									
第9週									
第10週									
第11週									
第12週									
第13週									
第14週									
第15週									
第16週									
第17週									
第18週									
第19週		福祉生協イリス イリス北8条、				第25週	福祉生協イリス イリス北8条、		
第20週		福祉生協イリス イリスもとまち、				第26週	福祉生協イリス イリスもとまち、		
第21週		有料老人ホーム ソレイユ、				第27週	有料老人ホーム ソレイユ、		
第22週		はまなす介護センター				第28週	はまなす介護センター		
第23週						第29週			
第24週									
第25週									
第26週									
第27週									
第28週									
第29週	福祉生協イリス イリス北8条、	第30週	福祉生協イリス イリス北8条、						
第30週	福祉生協イリス イリスもとまち、	第31週	福祉生協イリス イリスもとまち、						
第31週	有料老人ホーム ソレイユ、	第32週	有料老人ホーム ソレイユ、						
第32週	はまなす介護センター	第33週	はまなす介護センター						
第33週		第34週							
第34週									
第35週									
第36週									
3. 関連科目及び注意点									
音楽療法実習・実習技能・音楽療法演習									
4. 成績評価の方法									
日常点および定期試験（実技試験）により評価									
5. 教科書及び参考書など									
教科書 :									
参考書 :									
6. 注意事項									

科 目		音楽療法実習Ⅲ（通期）				
担当教員	菅原洋子・小川いづみ	学年	3	履修期間	通期	
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	136単位時間			
1. 概要						
目的	実際に校外で行う実習に向けて、学内実習（ロールプレイ）・事前指導などを通して、実践力を身に着ける。ロールプレイを行う中で、留意点・配慮点などを理解し、動くことの意味を理解する。また幼児に指導できるまでの力をつけさせる。					
2. 講義計画						
第1週	円山キッズステーション「PAL」、	第19週	円山キッズステーション「PAL」、			
第2週	NPO法人わたげ放課後サービス野いち	第20週	NPO法人わたげ 放課後サービス野いち			
第3週	ご、	第21週	ご、			
第4週	NPO法人ホップ障害者地域生活支援セン	第22週	NPO法人ホップ障害者地域生活支援センター、			
第5週	ター、	第23週	特定非営利法人はぐくみ会、			
第6週	特定非営利法人はぐくみ会、	第24週	ひばりが丘保育園、			
第7週	ひばりが丘保育園、	第25週	福祉生協イリス イリス北8条、			
第8週	福祉生協イリス イリス北8条、	第26週	福祉生協イリス イリスもとまち、			
第9週	福祉生協イリス イリスもとまち、	第27週	有料老人ホーム ソレイユ、			
第10週	有料老人ホーム ソレイユ、	第28週	はまなす介護センター			
第11週	はまなす介護センター	第29週	各施設にて交代に実習を行う。			
第12週	各施設にて交代に実習を行う。	第30週				
第13週		第31週				
第14週		第32週				
第15週		第33週				
第16週		第34週				
第17週		第35週				
第18週		第36週				
3. 関連科目及び注意点						
音楽療法演習・音楽技能・療法実践						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（実技試験）により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書 :						
参考書 :						
6. 注意事項						

科 目		指揮法（前期）			
担当教員	木村純	学年	3	履修期間	前期
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	34 単位時間		
1. 概要					
目的	基本的な指揮の知識および技術を取得する。 音楽療法のセッション時のクライアントに対して、指揮法が役立つ。 また、グループで音楽療法セッションを行うときの、集団での練習にも活用できる。				
2. 講義計画					
第1週	①打法（叩き）の確認練習 ②4つ振りの練習 ③3つ振りの練習				
第2週	①4振りと3つ振りの練習 バイエルNo8,9（連弾）②「ラデッキー行進曲」の音出し				
第3週	①2つ振りの練習「ちょうちょ」（連弾）フェルマータからの音切の練習 ②「ラデッキー行進曲」の音出し				
第4週	①早い2つ振りの練習 ②6つ振りの連数 ③「ラデッキー・マーチ」の練習				
第5週	①「春の日の花と輝く」（連弾）②6つ振りの練習③「オーラ・リ」の音出し④「ラデッキー・マーチ」のアンサンブル練習				
第6週	①6つ振りの練習「春の日の花と輝く」（連弾）②指揮法用アンサンブルの音出し③ラデッキー・マーチのアンサンブル練習				
第7週	①4つ振りで左手サインを出す練習②アンサンブルの指揮練習③「ラデッキー・マーチ」の練習				
第8週	①「オーラ・リ」の指揮練習②「野ばら」の指揮練習③「ラデッキー・マーチ」の仕上げ				
第9週	①「オーラ・リ」②「はにゅうの宿」音出し練習③「ラデッキー・マーチ」の練習				
第10週	①「はにゅうの宿」の指揮練習②「ラデッキー・マーチ」の練習				
第11週	「はにゅうの宿」指揮練習 ①音出し ②楽譜チェック ③指揮練習				
第12週	ひばりが丘保育園での実習練習				
第13週	ひばりが丘保育園での実習リハーサル				
第14週	「ラデッキー行進曲」の練習				
第15週	試験対策1「大きな古時計」				
第16週	試験対策2「大きな古時計」				
第17週	前期定期試験1				
第18週	前期定期試験2				
3. 関連科目及び注意点					
音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: とくに使用しない				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		音楽療法演習Ⅲ（通期）				
担当教員	小川いづみ	学年	3	履修期間	通期	
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	68単位時間			
1. 概要						
目的	実際に校外で行う実習に向けて、学内実習（ロールプレイ）・事前指導などを通して、実践力を身に着ける。ロールプレイを行う中で、留意点・配慮点などを理解し、実際に主セラピストおよびコセラピストとして何が必要であるか体験を通して学ぶ。					
2. 講義計画						
第1週	年間の実習計画を立てる	第19週	実習に向けてお実践練習（2）			
第2週	1回目の実習に向けての計画書づくり	第20週	7回目の実習に向けての計画書づくり			
第3週	実習に向けての実践練習（1）	第21週	実習に向けての実践練習（1）			
第4週	実習に向けてお実践練習（2）	第22週	実習に向けてお実践練習（2）			
第5週	2回目の実習に向けての計画書づくり	第23週	8回目の実習に向けての計画書づくり			
第6週	実習に向けての実践練習（1）	第24週	実習に向けての実践練習（1）			
第7週	実習に向けてお実践練習（2）	第25週	実習に向けてお実践練習（2）			
第8週	3回目の実習に向けての計画書づくり	第26週	9回目の実習に向けての計画書づくり			
第9週	実習に向けての実践練習（1）	第27週	実習に向けての実践練習（1）			
第10週	実習に向けてお実践練習（2）	第28週	実習に向けてお実践練習（2）			
第11週	4回目の実習に向けての計画書づくり	第29週	11回目の実習に向けての計画書づくり			
第12週	実習に向けての実践練習（1）	第30週	実習に向けての実践練習（1）			
第13週	実習に向けてお実践練習（2）	第31週	実習に向けてお実践練習（2）			
第14週	5回目の実習に向けての計画書づくり	第32週	実習に向けてお実践練習（3）			
第15週	実習に向けての実践練習（1）	第33週	12回目の実習に向けての計画書づくり			
第16週	実習に向けてお実践練習（2）	第34週	実習に向けての実践練習（1）			
第17週	6回目の実習に向けての計画書づくり	第35週	実習に向けてお実践練習（2）			
第18週	実習に向けての実践練習（1）	第36週	実習に向けてお実践練習（3）			
3. 関連科目及び注意点						
音楽療法実習・実習技能・療法実践						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（筆記試験+実技試験）により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書 :						
参考書 :						
6. 注意事項						

科目		実習技能Ⅱ（通期）				
担当教員	菅原洋子・小川いづみ	学年	3	履修期間	通期	
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	68単位時間			
1. 概要						
目的	児童分野での音楽療法について学ぶ。音楽療法実習の実習先のうち、児童分野での音楽療法セッションの計画を立てる。					
2. 講義計画						
第1週	円山キッズステーション「PAL」、	第19週	円山キッズステーション「PAL」、			
第2週	NPO法人わたげ放課後ディサービス野いち	第20週	NPO法人わたげ 放課後ディサービス野いち			
第3週	ご、	第21週	ご、			
第4週	NPO法人ホップ障害者地域生活支援セン	第22週	NPO法人ホップ障害者地域生活支援センター、			
第5週	ター、	第23週	特定非営利法人はぐくみ会、			
第6週	特定非営利法人はぐくみ会、	第24週	ひばりが丘保育園、			
第7週	ひばりが丘保育園、	第25週	各施設にて交代に実習を行う。			
第8週	各施設にて交代に実習を行う。	第26週				
第9週		第27週				
第10週		第28週				
第11週		第29週				
第12週		第30週				
第13週		第31週				
第14週		第32週				
第15週		第33週				
第16週		第34週				
第17週		第35週				
第18週		第36週				
3. 関連科目及び注意点						
音楽療法実習・音楽療法演習・療法実践						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（実技試験）により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	:					
参考書	:					
6. 注意事項						

科 目		卒業論文（通期）				
担当教員	一戸 憲子	学年	3	履修期間	通期	
学科	音楽療法学科 3 年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	講義	単位時間	102	単位時間		
1. 概要						
目的	実習の総括として症例報告を書いているセッションを振り返り、今後の課題等に気づき仕事に反省させる。					
2. 講義計画						
第 1 週	対象者及び目標の書き方の説明 実際に対象者を書いてみる	第 1 9 週	卒業論文発表会に向けてパソコンにて資料作成			
第 2 週	個人セッションの症例報告の書き方 実習先の個人の症例を書いてみる	第 2 0 週	卒業論文発表会に向けてパソコンにて資料作成			
第 3 週	考察の書き方の練習をし、書いてみる	第 2 1 週	卒業論文発表会に向けてパソコンにて資料作成			
第 4 週	今週言った実習の症例報告を書く	第 2 2 週	卒業論文発表会に向けてパソコンにて資料作成			
第 5 週	今週言った実習先の経過及び結果、考察を書く	第 2 3 週	卒業論文発表会に向けてパソコンにて資料作成			
第 6 週	今週言った実習先の経過及び結果、考察を書く	第 2 4 週	卒業論文発表会に向けてパソコンにて資料作成			
第 7 週	今週言った実習先の経過及び結果、考察を書く	第 2 5 週	卒業論文発表会に向けてパソコンにて資料作成			
第 8 週	実習先の高齢者施設の経過及び結果、考察を書く	第 2 6 週	卒業論文発表会に向けてパソコンにて資料作成			
第 9 週	今週行った児童デイの経過及び結果を書く	第 2 7 週	卒業論文発表会の発表原稿作成 1			
第 1 0 週	今週言った実習先の経過及び結果、考察を書く	第 2 8 週	卒業論文発表会の発表原稿作成 2			
第 1 1 週	児童領域の実習の経過及び結果、報告を書く	第 2 9 週	卒業論文発表会の発表原稿作成 3			
第 1 2 週	実習先ホップの経過及び結果を書く	第 3 0 週	卒業論文発表会の予行練習 1			
第 1 3 週	今週言った実習先の考察を書く	第 3 1 週	卒業論文発表会の予行練習 2			
第 1 4 週	今週言った実習先の経過及び結果、考察を書く	第 3 2 週	卒業論文発表会			
第 1 5 週	今週言った実習先の経過及び結果、考察を書く	第 3 3 週	卒業論文提出用取りまとめ			
第 1 6 週	今週言った実習先の経過及び結果、考察を書く	第 3 4 週	卒業論文提出用取りまとめ			
第 1 7 週	前期定期試験 1	第 3 5 週	後期定期試験 1			
第 1 8 週	前期定期試験 2	第 3 6 週	後期定期試験 2			
3. 関連科目及び注意点						
音楽療法実習の成果報告が中心である。						
4. 成績評価の方法						
日常点および卒業論文および発表で評価する						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	: 抄録の書き方					
参考書	:					
6. 注意事項						

科 目		和声学（通期）				
担当教員	木村純	学年	3	履修期間	通期	
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	68単位時間			
1. 概要						
目的	和声学とは音楽を構成する縦の響きと横の響きの関係を学ぶ学問である。本講座では、実習先のセッションで行う曲の演習を通して和声を学ぶ。					
2. 講義計画						
第1週	オリエンテーション 授業の進め方について	和声の予備知識	第19週	後期に向けての予備知識 和声学上の禁則について		
第2週	予備知識 四声体について 各声部の音域について	隣接声部間の距離について	第20週	和声学上の禁則について 「リトルマーメイド」メドレー		
第3週	基本型三和音の配置 高位について	密集配分と開離配分について	第21週	「アンダー・ザ・シー」		
第4週	密集配分と開離配分について	高位について	第22週	「リトルマーメイド」メドレー		
第5週	基本型三和音の配置	連結	第23週	アンサンブル練習		
第6週	基本型三和音の配置	連結	第24週	第1回転型三和音配置について オクターヴ配分を含む3つの配置について 三音重複の禁止について		
第7週	共通音のない和声連結		第25週	第1回転型三和音配置について オクターヴ配分を含む3つの配置について 三音重複の禁止について		
第8週	共通音のある和声連結		第26週	「happiness」アンサンブル		
第9週	共通音のない和声連結		第27週	「happiness」アンサンブル		
第10週	共通音のある和声連結		第28週	「happiness」アンサンブル		
第11週	基本型三和音の連結		第29週	「happiness」アンサンブル仕上げ		
第12週	基本型三和音の連結		第30週	アンサンブルの書き出し 「いつでも夢を」「青い山脈」		
第13週	基本型三和音の連結		第31週	アンサンブルの書き出し 「いつでも夢を」「青い山脈」		
第14週	基本型三和音の連結		第32週	アンサンブルの書き出し 「いつでも夢を」「青い山脈」		
第15週	基本型三和音の連結		第33週	試験準備1		
第16週	基本型三和音の連結		第34週	試験準備2		
第17週	基本型三和音の連結		第35週	後期定期試験1		
第18週	基本型三和音の連結		第36週	後期定期試験2		
3. 関連科目及び注意点						
音楽療法実習						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（実技試験）により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	: 和声 理論と実習（1）					
参考書	:					
6. 注意事項						

科 目		芸術社会学Ⅲ（通期）				
担当教員	越野陽子	学年	3	履修期間	通期	
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	68単位時間			
1. 概要						
目的	音楽療法に不可欠な、様々なジャンルの歌を知る事が目的です。童謡・唱歌・歌謡曲・外国曲・民謡等々、多様な種類と幅広い対象年齢を踏まえて選んだ曲を歌い、伴奏し、先読みし、楽曲の考察を行います。					
2. 講義計画						
第1週	「春が来た」「春の小川」「どじょっこふなっこ」	第19週	「悲しき口笛」「カチューシャの唄」「ゴンドラの唄」			
第2週	「春が来た」「春の小川」「どじょっこふなっこ」	第20週	「コスモス」「ふれあい」「銀色の道」			
第3週	「若葉」「牧の朝」「森の水車」	第21週	「かえり船」「岸壁の母」「りんごのひとりごと」			
第4週	「赤い靴」「青い目の人形」「かなりや」	第22週	「小さい秋みつけた」「月の砂漠」「上海帰りのリル」			
第5週	「おもちゃのチャチャチャ」「おぼけなんてないさ」「サッチャン」	第23週	「世界に一つだけの花」「あの素晴らしい愛をもう一度」「さとうきび畑」			
第6週	「丘を越えて」「高原列車は行く」「憧れのハワイ航路」	第24週	「若者たち」「かあさんの唄」「雪山讃歌」			
第7週	「いつでも愛を」「今日の日はさようなら」「明日があるさ」	第25週	「東京ラプソディ」「銀座カンカン娘」「銀座の恋の物語」			
第8週	「白いブランコ」「シクラメンのかほり」「ブルーシャドー」	第26週	「旅愁」「埴生の宿」「故郷の廃屋」			
第9週	「一寸法師」「花咲じじい」「牛若丸」	第27週	「星に願いを」「虹の彼方に」「小さな世界」			
第10週	「川の流れるように」「人生いろいろ」「水戸黄門」	第28週	「サザエさん」「ドラえもん」「アンパンマンのテーマ」			
第11週	「バラが咲いた」「幸せなら手をたたこう」「花嫁」	第29週	「いい湯だな」「幼なじみ」「恋のバカンス」			
第12週	「真っ赤な太陽」「霧の摩周湖」「瀬戸の花嫁」	第30週	「一杯のコーヒーから」「北国の春」「北の宿」			
第13週	「椰子の実」「宵待草」「琵琶湖周航の歌」	第31週	「地上の星」「時代」「昴」			
第14週	試験課題配布 暗譜10曲 先読み「若葉」	第32週	試験曲決定 暗譜10曲 先読み2曲			
第15週	試験練習1 先読み「丘を越えて」	第33週	「悲しき口笛」			
第16週	試験練習2 暗譜10曲	第34週	「カチューシャの唄」			
第17週	前期定期試験1	第35週	後期定期試験1			
第18週	前期定期試験2	第36週	後期定期試験2			
3. 関連科目及び注意点						
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（実技試験）により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	：音楽療法の現場から贈る 歌の宝石箱1～3					
参考書	：					
6. 注意事項						

科 目		合唱Ⅲ（通期）				
担当教員	越野陽子	学年	3	履修期間	通期	
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	68単位時間			
1. 概要						
目的	合唱の目的は、音を重ねた時のハーモニーの美しさを体感する事。セッションの内容に変化を持たせ、より豊かさを加える為にも、合唱で体験した響きの美しさを、音楽療法の現場で再現させる為の応用法を学びます。					
2. 講義計画						
第1週	「花」「北の国から」	第19週	「秋桜」「秋メドレー（まっかな秋～小さい秋見つけた～村祭～紅葉）」			
第2週	「花」「北の国から」「花の街」「荒城の月」	第20週	「秋桜」「秋メドレー（まっかな秋～小さい秋見つけた～村祭～紅葉）」			
第3週	「北の国から」「花の街」「荒城の月」	第21週	「秋桜」「秋メドレー（まっかな秋～小さい秋見つけた～村祭～紅葉）」			
第4週	「荒城の月」「春メドレー（どこかで春が～春が来た～朧月夜～花）」	第22週	「秋桜」「秋メドレー（まっかな秋～小さい秋見つけた～村祭～紅葉）」			
第5週	「荒城の月」「春メドレー（どこかで春が～春が来た～朧月夜～花）」	第23週	「旅愁」「歓喜の歌」			
第6週	「荒城の月」「春メドレー（どこかで春が～春が来た～朧月夜～花）」	第24週	「旅愁」「歓喜の歌」			
第7週	「荒城の月」「春メドレー（どこかで春が～春が来た～朧月夜～花）」	第25週	「旅愁」「歓喜の歌」			
第8週	「荒城の月」「春メドレー（どこかで春が～春が来た～朧月夜～花）」	第26週	「旅愁」「歓喜の歌」			
第9週	「夏の思い出」「夏メドレー（夏は来ぬ～海～みかん花咲～丘～夕日）」	第27週	「麦の唄」「見上げてごらん夜の星を」「遠くへ行きたい」			
第10週	「夏の思い出」「夏メドレー（夏は来ぬ～海～みかん花咲～丘～夕日）」	第28週	「麦の唄」「見上げてごらん夜の星を」「遠くへ行きたい」			
第11週	「夏の思い出」「夏メドレー（夏は来ぬ～海～みかん花咲～丘～夕日）」	第29週	「麦の唄」「見上げてごらん夜の星を」「遠くへ行きたい」			
第12週	「時代」「夏メドレー（夏は来ぬ～海～みかん花咲～丘～夕日）」	第30週	「麦の唄」「見上げてごらん夜の星を」「遠くへ行きたい」			
第13週	「時代」「糸」「ハレルヤ」	第31週	「ダニー・ボーイ」「冬メドレー（雪～かあさんの歌～雪の降る町を～スキーの歌）」			
第14週	「時代」「糸」「ハレルヤ」	第32週	「ダニー・ボーイ」「冬メドレー（雪～かあさんの歌～雪の降る町を～スキーの歌）」			
第15週	「時代」「糸」「ハレルヤ」	第33週	「ダニー・ボーイ」「冬メドレー（雪～かあさんの歌～雪の降る町を～スキーの歌）」			
第16週	「時代」「糸」「ハレルヤ」	第34週	「ダニー・ボーイ」「冬メドレー（雪～かあさんの歌～雪の降る町を～スキーの歌）」			
第17週	前期定期試験	第35週	後期定期試験1			
第18週	前期定期試験	第36週	後期定期試験2			
3. 関連科目及び注意点						
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（実技試験）により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	:					
参考書	:					
6. 注意事項						

科 目	デジタルサウンド基礎実習Ⅲ（前期）					
担当教員	宮崎亮	学年	3	履修期間	前期	
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	34単位時間			
1. 概要						
目的	コンピュータを使って作曲を行う。 デジタル機器を使っての演奏、作曲できるだけの技術を学ぶ。					
2. 講義計画						
第1週	G線 書き譜					
第2週	G線 書き譜 メロディ入力（バッハについて）					
第3週	パワーポップ					
第4週	デジタルアルペ					
第5週	テンションコード					
第6週	Powerpop					
第7週	Yesterdayサビ オーケストラ					
第8週	Yesterdayサビ オーケストラ 自分で和音設定					
第9週	アルペジオで作曲 指定のコード進行で行う					
第10週	アルペジオ					
第11週	デジタルアルペ					
第12週	デジタルアルペ					
第13週	デジタルアルペ テンションコード					
第14週	テクノ4つ打					
第15週	試験準備1					
第16週	試験準備2					
第17週	前期試験1					
第18週	前期試験2					
3. 関連科目及び注意点						
デジタルサウンド基礎実習Ⅱ						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（実技試験）および課題点により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	：プリントにて対応					
参考書	：					
6. 注意事項						
パソコンを使っての実習である。						

科 目	デジタルサウンド基礎実習Ⅳ（後期）					
担当教員	宮崎亮	学年	3	履修期間	後期	
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	34 単位時間			
1. 概要						
目的	コンピュータを使って作曲を行う。 デジタル機器を使っての演奏、作曲できるだけの技術を学ぶ。					
2. 講義計画						
第 1 週	フリー曲。A・B・C・（AB）で、Dr. Bs. コード、メロディー、+d	1				
第 2 週	フリー曲。A・B・C・（AB）で、Dr. Bs. コード、メロディー、+d	2				
第 3 週	Bright POP 16要素入れ、バックサウンドまで。	1				
第 4 週	Bright POP 16要素入れ、バックサウンドまで。	2				
第 5 週	テクノ4打 Dr & Bs					
第 6 週	テクノ4打 サビのみオリジナル採点					
第 7 週	テクノ4打 サビのみオリジナル採点					
第 8 週	メロディ入れ					
第 9 週	メロディ入れ					
第 10 週	R&Rへ 8Beat Bs line入力					
第 11 週	XmasSong					
第 12 週	XmasSong					
第 13 週	XmasSong					
第 14 週	XmasSong					
第 15 週	試験準備 1					
第 16 週	試験準備 2					
第 17 週	後期試験 1					
第 18 週	後期試験 2					
3. 関連科目及び注意点						
デジタルサウンド基礎実習Ⅰ						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（実技試験）および課題点により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	：プリントにて対応					
参考書	：					
6. 注意事項						
パソコンを使っての実習である。						

科 目		器楽Ⅲ（通期）			
担当教員	木村純	学年	3	履修期間	通期
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	68単位時間		
1. 概要					
目的	音楽療法のセッションで行う、器楽での演奏方法を学ぶ。 また、音楽療法実習で演奏する曲の練習も行う。				
2. 講義計画					
第1週	アコーディオン ピアノ連弾	第19週	「勇気100%」「私のお気に入り」		
第2週	予備知識 各声部の音域について	第20週	「虫の声」「まっかな秋」		
第3週	「春」「小川」 ピアノ連弾「春が来た」	第21週	「虫の声」「まっかな秋」「私のお気に入り」		
第4週	「ドレミの歌」	第22週	「虫の声」「まっかな秋」「ディズニー・メドレー」		
第5週	「ドレミの歌」 ピアノによるコード練習	第23週	「ディズニー・メドレー」		
第6週	「ドレミの歌」 連弾による和音練習	第24週	「ディズニー・メドレー」「あわてんぼうのサンタクロース」		
第7週	「エーデルワイス」「ドレミの歌」	第25週	「ディズニー・メドレー」「あわてんぼうのサンタクロース」		
第8週	「エーデルワイス」「サウンドオブミュージック」	第26週	「ディズニー・メドレー」「あわてんぼうのサンタクロース」		
第9週	「エーデルワイス」「サウンドオブミュージック」	第27週	「おどるポンポコリン」「あわてんぼうのサンタクロース」		
第10週	「エーデルワイス」「サウンドオブミュージック」	第28週	「おどるポンポコリン」「お正月の3つの歌」		
第11週	「エーデルワイス」「サウンドオブミュージック」	第29週	「おどるポンポコリン」「お正月の3つの歌」「ジングルベル」		
第12週	「エーデルワイス」「サウンドオブミュージック」	第30週	「おどるポンポコリン」「冬の星座」		
第13週	「小さい秋見つけた」	第31週	「おどるポンポコリン」「虹と雪のバラード」		
第14週	「小さい秋見つけた」	第32週	「おどるポンポコリン」「虹と雪のバラード」		
第15週	試験準備1	第33週	試験準備1		
第16週	試験準備2	第34週	試験準備2		
第17週	前期定期試験1	第35週	後期定期試験1		
第18週	前期定期試験2	第36週	後期定期試験2		
3. 関連科目及び注意点					
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書 :					
参考書 :					
6. 注意事項					

科 目		音楽心理学（前期）				
担当教員	一戸 憲子	学年	3	履修期間	前期	
学科	音楽療法学科 3 年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	講義	単位時間	34	単位時間		
1. 概要						
目的	人間の音楽に対する生理的、心理的反応を探り、音楽活動全般について基本的理解を深める。 音楽療法場面での音楽活用方法を学ぶことを目標とする。					
2. 講義計画						
第 1 週	音楽と科学について 音楽と生存価値・人は音楽に操られる 音楽が不可欠な現代社会					
第 2 週	音楽が不可解な現代社会 先端技術と音楽 音楽をストレスという側面からとらえると 1					
第 3 週	音楽が不可解な現代社会 先端技術と音楽 音楽をストレスという側面からとらえると 2					
第 4 週	実習先の経過及び結果、考察を書く。考察では主観的に書く練習をする					
第 5 週	音楽心理学の方法 観察法 実験法 質問紙法					
第 6 週	音楽心理学の方法 観察法 実験法 質問紙法					
第 7 週	旋律の高温的側面について					
第 8 週	リズム（旋律の時間的側面）拍節構造の知覚					
第 9 週	リズムの時間的側面について 音楽リズムの運動的側面 感情的側面					
第 10 週	音の響き 音楽の聴取について 様々な聴取の仕方 1					
第 11 週	音の響き 音楽の聴取について 様々な聴取の仕方 2					
第 12 週	音の響き 音楽の聴取について 様々な聴取の仕方 3					
第 13 週	音楽と脳について 脳の構造について 脳損傷研究 機能局在について					
第 14 週	レポートの提出について説明					
第 15 週	刺激的音楽と鎮静的音楽の性質 儀式における音楽について					
第 16 週						
第 17 週	後期試験 1					
第 18 週	後期試験 2					
3. 関連科目及び注意点						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（筆記試験）により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	:					
参考書	:					
6. 注意事項						

科 目		日本音楽（後期）				
担当教員	一戸憲子	学年	3	履修期間	後期	
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	34	単位時間		
1. 概要						
目的	日本音楽のリズム・和音・スピードなど、伝統的な日本音楽の特徴を学ぶ。					
2. 講義計画						
第1週	日本音楽の時代区分・系統・分類					
第2週	日本音楽には「何故 金属楽器がないのか?」「何故さまざまな音色があるのか?」					
第3週	「日本音楽では何故演奏者が声を出すのか」「日本音楽では何故何を歌っているのかわからないのか」					
第4週	「日本音楽では何故、指揮者がいないのか」「日本音楽では何故、調弦調律しながら演奏するのか」					
第5週	日本音楽では何故、正座をしてえんそうするのか、美声というのはどんな声なのか、リズムとメロディーとハーモニー					
第6週	伝統芸能・伝統音楽とはなにか まとめ 日本音楽の特色					
第7週	童謡 唱歌 流行歌の作曲家について学ぶ					
第8週	声明、平曲、琵琶学 能楽について学ぶ					
第9週	邦楽用語の説明1					
第10週	邦楽用語の説明2					
第11週	卒業論文指導1					
第12週	卒業論文指導2					
第13週	卒業論文指導3					
第14週	卒業論文指導4					
第15週	試験準備1					
第16週	試験準備2					
第17週	後期定期試験1					
第18週	後期定期試験2					
3. 関連科目及び注意点						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（実技試験）と課題により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書	: プリントにて対応					
参考書	:					
6. 注意事項						

科 目		パソコン実習（通期）				
担当教員	加藤雅博	学年	3	履修期間	通期	
学科	音楽療法学科3年制					
種別	演習	単位時間	68 単位時間			
1. 概要						
目的	Word、Excel、PowerPointおよびパソコンの操作の基礎を学ぶ。					
2. 講義計画						
第 1 週	Windows10の基本操作1	第 1 9 週	前期の復習			
第 2 週	Windows10の基本操作2	第 2 0 週	Excel基礎1	入力の方法、フィルハンドル		
第 3 週	Word基礎1 画面、日本語入力、操作方法	第 2 1 週	Excel基礎2	オートサムボタンの活用		
第 4 週	Word基礎2 ショートカットキー マウスポインタ	第 2 2 週	Excel基礎3	絶対参照・相対参照		
第 5 週	Word基礎3 書式の設定（センタリング等）	第 2 3 週	Excel基礎4	丸め（INT ROUND）		
第 6 週	Word基礎4 均等割り付け、表の挿入	第 2 4 週	Excel基礎5	順位（RANK. EQ）		
第 7 週	Word基礎5 テキストボックス・図形の挿入	第 2 5 週	Excel基礎6	分岐（IF）		
第 8 週	Word基礎6 画像の挿入、画像の加工	第 2 6 週	Excel基礎7	表検索（VLOOKUP）		
第 9 週	Word基礎7 ビジネス文章作成	第 2 7 週	Excel基礎8	論理関数（AND, OR）		
第 1 0 週	Word基礎8 ビジネス文章作成	第 2 8 週	Excel基礎9	表計算検定模擬		
第 1 1 週	Word基礎9 P O P の作成	第 2 9 週	Excel基礎10	表計算検定模擬		
第 1 2 週	Word基礎10 P O P の作成	第 3 0 週	PowerPoint1	操作基本		
第 1 3 週	Word基礎11 ワープロ検定3級模擬	第 3 1 週	PowerPoint2	テキスト・画像		
第 1 4 週	Word基礎12 ワープロ検定3級模擬	第 3 2 週	PowerPoint3	グラフ挿入		
第 1 5 週	Excel概要2 セル・ワークシート・ブック	第 3 3 週	PowerPoint4	卒論資料作成		
第 1 6 週	Excel概要2 数式の考え方	第 3 4 週	PowerPoint5	卒研資料作成		
第 1 7 週	前期定期試験1	第 3 5 週	後期定期試験1			
第 1 8 週	前期定期試験2	第 3 6 週	後期定期試験2			
3. 関連科目及び注意点						
4. 成績評価の方法						
日常点および定期試験（筆記試験＋実技試験）により評価						
5. 教科書及び参考書など						
教科書 :						
参考書 :						
6. 注意事項						
パソコンを使つての実習である。						